

テーマ

歴史・人・自然・もの 未来につなげるESD!

目標

郷土の良さを伝える 地域伝統文化・歴史の啓蒙

今年度の取組紹介

「アルミ缶回収活動」に取り組んで今年で19年目になります。当時の中学校生徒会の呼びかけで始まり、地域福祉協議会、ボランティア愛歩21、地域住民、学校が一つになり継続して実施しています。今年、南三陸町の特別養護老人ホーム「慈恵園」に車椅子を3台、月ヶ瀬地区社会福祉協議会に歩行器を2台寄贈させていただきました。これで今までに寄贈した福祉機器は111台になりました。

また、地域で行われる体育祭や文化祭、駅伝大会、マラソン大会などを通してスポーツや文化に触れたり、福祉センターの「いきいき講座」への出演や友愛訪問、地域清掃などで高齢者の方や地域の方々とも交流することができました。

さらに、小中合同避難訓練、小中合同PTA環境整備作業、保小中梅採りなど保育園・小学校・中学校が連携して多くの取組を実施しました。



アルミ缶回収活動



月ヶ瀬体育祭



月ヶ瀬文化祭

今年度のまとめ

地域で取り組んだアルミ缶回収活動が、国際ソロプチミスト奈良一まほろばで認められ、昨年に続き、今年も「学生ボランティア賞」を受賞しました。このことは、今後も継続してこの取組を続けていくための力を与えてくれました。また、地域ぐるみの体育祭や文化祭、駅伝大会、マラソン大会への参加により、スポーツや地域の文化に触れ、地域がつながり、「地域の子どもを地域で育てる」体制ができました。

これからも、ふるさとに誇りを持ち、郷土の良さを伝え、地域の伝統文化を継承するこどもを育成し、地域の取組を発信していきたいと思います。

来年度に向けて

今後は、若い支援者を広げ、若者が定住できる環境、仕事、活性化の取組を考えていかねばなりません。地域協議会など異年齢の交流を大切にして、話し合いを進め、若者が主体的に考え、行動、発信していける環境づくりが必要です。

テーマ

ふるさとに夢と誇りを持とう

目標

故郷を知る・伝統文化を体験する・故郷に貢献する・故郷の良さを発信する**今年度の取組紹介**

ふるさとを知る取組として、毎年「ふるさと Walk」を実施していますが、今年は尾山地区と石打地区をボランティアの方に案内していただき、それぞれの地区を巡りました。また、職場体験学習、梅干しづくり、地域花いっぱい運動、闘茶会、紅花染体験、奈良晒体験、地域清掃、梅林清掃、世界遺産学習サミットへの参加など多くの活動を通じてふるさと学習に取り組みました。

さらに今年は、「学校施設の防災力強化プロジェクト」に参加し、生徒会役員の仙台視察、奈良市防災生徒総会成果発表会での発表、校内避難訓練などに取り組みました。

また、地域で行われる体育祭や文化祭、駅伝大会、梅溪マラソン大会にも参加しました。



ふるさと Walk で
尾山地区を巡る



世界遺産学習サミットで
学区ブランド商品の販売



奈良市防災生徒総会分科会
で生徒会役員が成果を発表

今年度のまとめ

ふるさと学習を通して、ふるさとを知り、ふるさとの良さを発見し、ふるさとに貢献できたと考えています。「アルミ缶回収活動」は、今年で19年目になりますが、この活動に対して本年も、国際ソロプチミスト奈良一まほろばの「学生ボランティア賞」を受賞し、ますますこの活動の意義や大切さを感じました。2年生の職場体験学習では、月ヶ瀬保育園、福祉センターなど地域の事業所にお世話になりました。世界遺産学習サミットや交流の集いでは、生徒たちが学区ブランド商品としてつくった梅干しや紅花染めのコースター、バンダナ、絵本を販売しました。

来年度に向けて

少子高齢化の進むへき地であるが、長年地域の子どもたちを地域で支え、支援する体制が整っています。保小中の子どもたちを地域ぐるみで育てる良い環境を今後も継続して構築していきたいと考えます。アルミ缶回収活動も継続して取り組んでいきたいと思ひます。また、若い世代の取り込みも今後益々必要になっています。

テーマ

ふるさと大好き、月ヶ瀬っ子！

目標

月ヶ瀬の良さを体感させ、月ヶ瀬をもっと好きになり、将来への夢に繋げる。

今年度の取組紹介

地域の先輩方から月ヶ瀬の魅力を学んでいく取組の継続は、その内容の充実と広がりを見せています。そこには豊かな体験があり、それを伝えるおもいと受け継ぐおもいが交錯する場でもあります。その中から、今年度は2点報告します。

「伝統に学ぶ」子ども狂言や尾山万歳は保存会や振興会の方から直に学んでいます。20年以上続いている取組ですが、毎年、新しい出会いや発見があります。そして、地域の方の伝統芸能にかけるおもいを意識し、学習発表会で演じることで子どもたちは大きく成長していきます。独特な言い回し、間の取り方、見ている人を感動させるには、感情を込めて演じることなどを体得しながら、心一つにして演じきることで充実感・達成感を味わうことができました。自尊心が低くなりがちな子らに大舞台での発表と自信を与えて下さる指導者の方々との触れあいやコミュニケーションを通して月ヶ瀬の魅力を深く感じさせることができました。



特産＝月ヶ瀬茶について学ぶ。茶ソムリエさんから茶作りについての話を聞き、手つみ体験・手もみ体験、闘茶会を通して、茶について学びました。茶の奥深さに触れ、ふるさとへの誇りを大きく育てることができました。次世代をになう若い後継者の方の話を聴くことができたことも大きな収穫でした。そして、これらの地域学習から発展して月ヶ瀬産～お宝自慢～として学習発表会で地域のことについて伝え、地域に発信することができました。

今年度のまとめ 地域から学んだことを地域に発信することで、地域を元気にしていこうと取り組んできました。取組内容による学びの広がりや深まりと地域の方との温かい交流が、コミュニケーション能力の向上につながっています。また、得難い体験と素晴らしい人・ものに触れて生まれ育った地域への誇りと愛着を育んでいます。地域の方の感想「子どもが地域を明るくする。本当にそうだと思います。月ヶ瀬はみんなにとって恵まれたところなんだと再認識させられた。少人数だからこそ一人一人に役割がついて、自覚を持って行動できるんだなあと思った。」等

来年度に向けて

本校区は地域ぐるみで子どもを育む機運にとみ、学校教育に大変協力的です。こうした地域の方々に生まれ、見守られながら自尊心を高めるために「地域の先輩から学ぶ」取組を継続していきたいです。元気な学校が元気な地域作りの要になれるよう、この「学び」を大勢の前で発表したり、発信したりすることで自信をもち、自分の思いや考えを伝える力をつけていきたいと思ひます。